

平成26年度 学 校 評 価 表

8 長野県須坂商業高等学校

学校教育目標	重点目標(中・長期的目標)
○希望に満ちた積極的な人間の形成を目指す。	1. 地域から信頼される学校づくりを推進する。
○何ごとともやり抜く気力・体力を養う。	2. 生徒の主体的な学習活動を推進する。
	3. 生徒の職業意識を高め、キャリア教育の充実を図る。
	今年度の重点目標
○豊かな品位ある誠実な人格を養う。	○自己有用感をもち、主体的に社会に参加しようとする姿勢を育成する。(中・長期的目標の1, 2, 3に対応)
	○自分を大切にするとともに、他者を思いやることができる人権意識を涵養する。(同じく 1に対応)
	○生徒の希望する進路実現につながるキャリア教育の推進を図る。(同じく 2, 3に対応)
	○基礎学力の定着と高度資格取得等を目指すことにより、学力の向上を図る。(同じく 3に対応)
	○地域との連携を深め、開かれた学校づくりをより推進する。(同じく 1に対応)

領域	対象	評価項目	評価の観点	
教 育	学 習 指 導	○基礎学力の充実	・一人ひとりの生徒に対してゆきとどいた学習指導がなされているか。	
			・学習内容の改善、工夫がなされているか。	
			・学力補充が計画され、実施されているか。	
			・家庭学習の時間をもつための取り組みができたか。	
		○検定前学習の充実	・検定学習をするための組織的、計画的な環境作りができたか。	
	○須商マーケットでの実習販売	・商業の授業として体系的な取り組みができていくか。		
	○生徒に合ったコース制の選択	・生徒個人の将来設計に見合ったコース選択がなされたか。		
	生 徒 指 導	○生活指導の取り組み	・基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に取り組めたか。	
			・校則を守った身だしなみ指導ができたか。	
			・日常的・継続的な指導が学校全体で行われたか。	
教 育 相 談	○校外内の巡視	・校舎内外の見回りが行われたか。		
		・地域の方の意見・要望に応えられる生徒育成に力を尽くすことができたか。		
	○教育相談	・人間関係がうまく築けない生徒に対して、適切な助言ができたか。		
		・校内の教育相談体制がうまく機能したか。		
		・特別支援教育の理解を深める研修ができ、情報を共有し適切な対応ができたか。		
○家庭との連携	・いじめにつながる行為を見逃さないなど、いじめの未然防止に努めることができたか。			
	・必要な外部機関との連携をはかりながら、問題を解決できたか。			
動 指 導	○進路指導體制の充実	・反省指導等で保護者との連絡・協力がなされたか。		
		・教育相談の中で保護者の意向を聞き取った上での取り組みができたか。		
	○進路情報の提供	・係、学年、教科で緊密な連携がとれ、学校全体で生徒の希望に合わせた進路指導が行われたか。		
		・進路情報の収集・提供が適切になされ、生徒の進路意識を高めることができたか。		
○キャリア教育の充実	・将来を見据えたキャリア教育の推進とインターンシップを積極的に推し進められたか。			
	○就職先の確保と開拓	・卒業生の就職企業と連絡を密に取る一方、生徒の希望する職種の企業開拓に努めたか。		
学 校 連 携	地 域 と の 連 携	○公開授業の充実	・公開範囲の拡大、来校者の本校に対するイメージアップにつながったか。	
		○中学生体験入学の充実	・新校への入学を希望する中学生を広く集め、新校に対する理解を深めることができたか。	
		○学校評議員会の充実	・学校の教育活動を十分に説明することができたか。	
			・意見要望に対して改善するよう取り組めたか。	
		○学校ホームページの充実	・タイムリーな情報発信ができたか。	
○生徒の校外活動の充実	・地域との連携による生徒の自主活動ができたか。			
運 護 連 携 者	と 保 の 護 連 携 者	○学年・学級PTAの活性化	・生徒の学習、生活、進路について十分な論議がなされたか。	
			・学校と家庭との連携がうまくなされたか。	
営 生 徒 会	生 徒 会	○OPTA行事の充実	・行事を充実させ、学校と家庭との親睦を図ることができたか。	
			○生徒会活動の活性化	・生徒の主体的な活動を推進できたか。
				・委員会活動を計画通りに行えたか。
				・部の活動が活発に行われたか。
		・生徒会予算を請求通りに有効に執行できたか。		